

南種子町立島間小学校学校だより（創立148年）

令和4年度 11月号
令和4年 11月29日発行

島間の風

「元気登校！ 満足下校！ ひとみ輝く島間っ子」

児童数34名 教職員数11名

発行責任者 校長 南 健

「自尊感情」を育む

校長 南 健

来月5日（月）～10日（土）は人権週間です。本校では「命を大切にす子」を共通実践事項として取り組んでいます。人権に対する意識を高めていくためには、その源となる人権感覚を育てていく必要があります。人権感覚とは、人権の価値やその重要性にかんがみ、人権が擁護され、実現されている状態を感知して、これを望ましいものと感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知して、それを許せないとするような、価値志向的な感覚であるとされています。このような人権感覚を身に付けるには、自分自身の「自尊感情」を高めていくことが重要であると言われます。

「人権」がすべての人に保障されるためには、一人ひとりが自分をかけがえのない存在として思えるようになること、ひいては他の人も同様にかげがえのない存在として尊重したいと実感できるようになることが必要です。これは「人権教育」の基本的な考え方であり、自分自身をかけがえのない存在であると自覚できる「自尊感情」を高めていくことが大切です。

本校では、「自尊感情」を「子どもたちが、よりよい人間関係を築いた中で、他者の評価や自己の成長や失敗に左右されずに、自分の全てをあるがままに受け入れ、自分を大切な存在として尊重する感情」と捉えて、昨年度に引き続き、本年度も学校の校内研修でテーマとして取り上げ取り組んできています。

6年生を対象に、今年度4月に実施された全国学力学習状況調査の中で行われた児童質問紙調査の中に、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問がありました。本校6年生児童の全員が、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対しても、全児童が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えています。このことから、本校6年生児童は、自分自身のよさをよさとして認め受け入れていることがうかがえます。これは、本校が昨年度から取り組んでいる、「自尊感情を育む」という観点から、大変意義深い結果であると考えています。

現在、身近に起こっている人権課題は、多くの偏見によって生まれ続けているものであると言われています。新型コロナウイルスの感染が拡大した当初、新たな差別意識として、新型コロナウイルスへの感染のおそれや不安などから、感染者やそのご家族に対する誹謗・中傷、インターネット上での悪質な書き込み等が行われ、医療機関や介護施設、物流・交通事業、小売業等で働いておられる、私たちの命を守り、暮らしを支えてくださっている方々とそれぞれのご家族、県外から来られた方などへの差別的言動も発生してきました。このように、人権課題は人々が生活していく中で、新しく多くのものが積み重なっていているのが現状に思われます。このように増え続ける人権課題について子どもたち一人一人が直面し解決していくためには、「自尊感情」を高めることが大切であるといえます。

学校での人権教育の取組は、全教育活動を通じて行います。道徳や各教科の学習と合わせて、集会活動や学年の縦割り活動を計画的に行うことで、お互いを認め合い、自分自身だけではなく、他者のこともかけがえのない存在であるという認識の上に考え行動できる子供の育成をめざしています。



12月の人権週間を、子供同士で人権を大切にしているか、大人が良きモデルになっているか等、御家庭でもお子さまと一緒に人権について考える機会としていただければ大変有り難く存じます。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

本年度も地域が育む「鹿児島島の教育」県民週間の期間中、3日間のフリー参観が行われました。読書祭りでの「町おはなし子ども会」による読み聞かせや学校評価委員の方々とのおふれあい給食等も行いました。また、『心の教育週間』として「考え議論する道徳科」の授業等に多くの参観をいただきありがとうございました。

今年度は、3年ぶりに地域の高齢者とのふれあい活動も行うことができました。昔の遊び（1・2年生）、グラウンドゴルフ（3・4年生）、しめ縄作り（5・6年生）を通して、楽しく会話し、教えてもらいながら、とても貴重な体験となりました。

県民週間は終わりましたが、これからいつでも保護者や地域の方々に子どもたちの様子を参観していただければ嬉しく思います。



ホクホクあま〜い 焼き芋のできあがり！

11/25（金）に1・2年生が焼き芋をしました。永松さんから苗をいただき、これまで観察やお世話を続け、11/7に掘ったお芋です。ぬらした新聞紙とアルミホイルで包んだお芋を焚き火の後の炭で焼きました。1時間ほどで焼き上がったお芋は、中が黄金色でとてもあまい焼き芋に。子どもたちは大喜びで、口いっぱい頬張っていました。



文化庁巡回講演 児童劇「ねこはしる」11/16（水）

文化庁巡回講演が今年度も島間小学校で行われました。今年の公演は、『アートイン Asibina』さんによる児童劇「ねこはしる」。前日のワークショップでは、縦割りグループごとに「のはらパフォーマンス」を創作し、台詞と動きを子どもたちが考えました。また、「ストリングラフィ」という糸と紙コップで作る楽器を制作し、音の表現まで子どもたちが考えました。



公演当日は、保護者や地域の方々にも呼びかけ、子どもたちのパフォーマンスとAsibinaさんのコラボ劇「ねこはしる」を楽しんでいただきました。子どもたちは、体をいっぱい動かし、お腹から声を出して「のはら」を表現してくれました。本編に入ると、子供たちは演技の鑑賞。プロの方々の発声、歌声、身体表現… 瞬きをするのも忘れるくらい演技に引き込まれていきました。たくさんの登場人物がありましたが、それをわずか3人で演じていることにも驚き、その演技力に感動しました。児童代表6年の船川寛太さんが御礼の言葉を述べ、団員の方々に感謝の気持ちを伝えてくれました。各学年の代表児童が花束を手渡し、終演となりました。子どもたちが自分のアイデアを発揮し、一人一人が役割を持ち、活躍できる貴重な経験をさせていただきました。アートイン Asibina のみなさん、本当にありがとうございました。



家庭教育学級「和太鼓で健康づくり」

11/1（火）に和太鼓講師 廣濱幸奈さん（小平山）を講師に招き、和太鼓を使った健康づくりを行いました。自分の体力に合わせ、リズムよく太鼓をたたくことで腕や肩はもちろん、足腰の鍛錬にもなり、参加者は気持ちのよい汗を流していました。何よりもストレス発散効果が大きく、終始笑顔で楽しそうな姿が印象的でした。



親子グラウンドゴルフ大会

11/12（土）に親子グラウンドゴルフ大会を行いました。全家庭からの参加申し込みがあり、総勢76名での大会となりました。2家族1チームとなり、8ホールを回りました。初めてグラウンドゴルフをする人も多く、珍プレー、好プレーがたくさん見られました。親子で教え合いながら、他の家族と楽しく会話しながらのグラウンドゴルフは、大変有意義な時間となりました。





ふれあい活動：昔の遊び（1・2年生）



ふれあい活動：グラウンドゴルフ（3・4年生）



ふれあい活動：しめ縄作り（5・6年生）



文化庁巡回講演 児童劇『ねこはしる』：劇団アートイン Asibina



12月の行事予定		12/23 (金)	終業式
		12/25 (日)	P T A 門松作り
12/2 (金)	持久走大会試走 (予備日)	1月の行事予定	
12/6 (火)	人権教室 (3・4年)		
12/7 (水)	林家種平さんお話会	1/10 (火)	始業式
12/10 (土)	持久走大会10:15~	1/14 (土)	町風あげ大会
	学級P T A 11:20~	1/16 (月)	避難訓練 (地震・津波・土砂災害)
	留学生ボンカン狩り体験	1/17・18 (火・水)	鹿児島学習定着度調査
	P T A 語ろう会17:30~	1/20 (金)	授業参観・学級P T A